

# Yokohama Tire Manufacturing Virginia, LLC (YTMV) CSRレポート

**事業内容:** 乗用車およびライトトラックタイヤの生産  
**敷地面積:** 24,300m<sup>2</sup>  
**従業員数:** 900名 (2014年12月)  
**所在地:** 1500 Indiana Street, Salem, VA 24153

**相談・苦情などの受付窓口:**  
 TEL: 800-433-9851  
 Director, EHS, Neil Dalton  
 メールアドレス: Neil.Dalton@yokohamatire.com



## 社長ご挨拶



村上 徹郎

ヨコハマタイヤマニュファクチャリングバージニア (YTMV) はYRCの基本理念に従い、全世界の人類と環境の保護に努めることを約束します。YTMVはYRCグループ内において北米での重要なタイヤ生産工場であり、長年の実績を基に、北米での今後の成長と拡大を踏まえ、確実なCSRの基礎を確立してきました。ISO14001環境管理システムのもと、確固たる環境方針を持ち、総合的コンプライアンスと継続的な改善を進めております。2014年

度は、引き続き最重要課題として、製造時のスクラップ屑削減に取り組み、2013年度比15%の削減を達成しました。これにより、埋立て産業廃棄物量の削減、エネルギーの有効活用が着実に進み、さらに個別の改善を進めた結果、2014年度下期は、前年同期比で産業廃棄物の埋立率を73%改善することができました。

YRCの基本理念を基に、重要課題である環境や資源破壊につながらない製品の開発や製造を進め、環境との調和を通じた持続可能な社会づくりに貢献していきます。

## 組織統治

アメリカでのグループ統括会社であるYCNA (Yokohama Tire Corporation of North America) と協業し、ビジネスの拡大や形態の変化による組織統治、人権、労働慣行、環境などにかかわるさまざまなリスク増大に対して、リスクマネジメントの強化を進めています。毎年4月に、e-learningによるコンプライアンス教育とその確認テストを実施しています。

YTMV内で組織統治を進めつつ、YCNAおよび横浜ゴムから見ても透明性の高い仕組みづくりを進めています。



e-learning学習

## 人権

当社は人権保護に、厳格に取り組んでいます。個々の自由を重んじる米国において、人権保護は他国以上の厳格さが必要であると認識し、日々の運営と改善を進めています。2014年は労働組合と4年間の契約を締結しましたが、その契約にも“人

種、宗教、肌の色、性別、年齢、国籍、障がい、軍歴など州・連邦法で定められている差別の根絶”を明記しています。また社内のみならず、2014年度においても、製品に使用する原材料に紛争鉱物が使われていないことを仕入先に確認しました。

## 労働慣行

### 安全衛生

YTMVは従業員を最も価値のある資産と考え、各従業員の安全を最優先課題としています。

### 主なガイドライン

- ・全ての法規制を順守します。
- ・全従業員に毎年、安全訓練 (トレーニング) を実施します。
- ・リスクを低減するため継続的にリスクアセスメント、安全監査、2S、危険予知 (ハザードアイデンティフィケーション) などの活動を行います。
- ・危険認識 (Safety Awareness) の啓発活動を継続的に推進します。
- ・従業員に個人保護具を準備します。
- ・全従業員と契約者に安全要求の順守を求めています。

**私たちは安全で健康的かつすべての利益になる収益性の高い職場を持つことができるよう、労使一体となり活動します。**

## 労働慣行

### 緊急対応

YTMVは高いスキルを持った「緊急対応チーム」を組織し、職場で起こり得るいかなる医療緊急事態にも毎日24時間対応しています。このチームのメンバーは、毎年5日間の外部訓練コースを受講し、緊急医療知識と技能のみならず、狭い空間や高所からの救出などいろいろな状況に

対応できるよう訓練を受けています。現在25名のメンバーがおり、常に災害や火災等の緊急対応訓練を行い、従業員に意識啓発を行っています。



緊急対応チーム訓練の様子

## 環境

### EMSミッション

アメリカでは、化学物質の使用、大気や水域への排出、廃棄物の報告が義務付けられています。当社は、定期的に監視を行い、すべての州連邦の環境規制を順守しています。

2014年、環境マネジメントシステムであるISO14001の外部監査においても、不適合点はありませんでした。また、2014年度は環境保護への総合的な改善活動の結果、地域環境NPOであるVirginia Water Environmental Associationから“Environmental Warrior Award”を受賞しました。



### スクラップの削減

この3年間、タイヤ製造時の工程で発生するスクラップ屑の削減に全員参加で取り組み、大きな効果を上げました。

毎朝行われる製造会議では、安全と品質、スクラップ屑の問題だけに絞込み、総量の結果報告ではなく、発生1件ごとの極めて細かい原因の追及と対策活動を継続したことが結果につながりました。

### ゼロエミッション

スクラップ屑の削減と同時に、3R活動（紙使用量の削減、木材の再利用、産業廃棄物の燃焼によるエネルギー転換等）の個別改善の結果、2014年は産業廃棄物の埋立率を大幅改善し、ゼロエミッションという大きな目標達成に向け、あと一歩と迫っています。

### 化学物質管理

米国では、すべての製造業者は米国環境省（EPA）の有害物質規制法規（TSCA）を順守して運営しなければいけません。YTMVではTSCA要求に準拠するだけでなく、そのほかの国際的な規制にも対応した社内基準と手順を確立しています。当社の工場に入ってくる化学物質の管理や取り扱い手順を確立することは、従業員の安全を守るだけでなく商品をお使いいただくお客さまの安全を守る基本です。

### 雨水排水

近郊のロアノーク河川へ排出している雨水排水に含有される亜鉛に対し、州設定の推奨値に適合すべく、改善を進めています。2009年以降大幅に削減し、あと一歩のところまで来ています。

### 環境データ

項目	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	
廃棄物発生量(t)	3,576	4,122	2,817	2,090	1,786	
埋立率(%)	45.7	33.8	21.2	20.7	11.7	
埋立量(t)	1,636	1,393	598	432	209	
エネルギー使用量 (原油換算:kl)	電力	21,635	22,178	21,527	19,939	20,124
	燃料	11,840	11,705	11,624	10,958	10,340
	合計	33,475	33,882	33,150	30,897	30,464
温室効果ガス排出量(千t-CO <sub>2</sub> )	70.0	70.9	69.2	64.5	63.7	
水使用量(千m <sup>3</sup> )	196	198	134	108	165	

※年度：1月～12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用。

## 公正な事業慣行

仕組みの構築とそのシステム化により、透明性の高い運営を進めています。取引先の皆さまとの慣行については、毎年のコンプライアンス教育において、その意識の向上に努めています。

## 消費者課題

アメリカ内の販売会社であるヨコハマタイヤ コーポレーション（YTC）と、品質情報と必要な改善課題の進捗等を常に共有し、顧客満足度の向上に努めています。

工場は、“開かれたShow Room”として、広くお客さまの来訪をお待ちしています。2014年度もYTC販売先である大手顧客や地域のタイヤショップの方々に、お越しいただきました。



### 千年の杜

2014年11月7-8日の2日間にわたって、地域の中高生25名を含めた計125名で第6回目の植樹を行いました。  
今回の2,000本を含め、累計で10,296本の植樹を完了しました。



植樹記念撮影



### ECOデー

2014年10月4日に地域協業にて第3回目のECOデーを行いました。  
不要な電化製品（重さにして約3,200ポンド）の収集と、リサイクルおよび家庭からの個人情報等が記載された紙のシュレッダーサービス（3,500ポンド）とリサイクルを行いました。



地域協業トレーラー

### 地域清掃

毎年、地元の団体、ボランティアに協力して、従業員のチームが近隣の河川、周辺のごみ拾いを行い、地域環境の保全に努めています。  
2014年度は、Earthデーである4月と、9月に実施しました。



清掃メンバーでの記念写真



### 地域への基金募金

- ・アメリカ赤十字への支援：\$3,000
- ・アップルリッジファーム（恵まれない子どもたちへの支援）：\$5,000
- ・ユナイテッドウェー（ロアノーク地区の教育、家庭、健康、環境への支援）：\$103,403
- 内訳 会社から支援：\$15,000／従業員の募金：\$88,403
- ・その他11件の各種支援：\$13,490